

# 「第48回関東甲信越地区退職校長会連絡協議会発表資料」

## 存在感のある「退職校長会を目指して」

### ～魅力ある事業活動・会員相互の交流連携をどう進めるか～

埼玉県

#### 1 本会の現状（活動の基盤）

##### （1）最近3年間の会員数と新会員の入会率

○令和 元年度	3746名	82.6%	新入会員	191名
○平成30年度	3739名	82.6%		
○平成29年度	3728名	91.3%		

##### （2）本部の組織

本部 ⇄ 支部（10）⇄ 班（57）

・定期総会（1回）・支部長会（3回）・理事会（2回）・専門部会（2～3回）・幹事会（随時）

#### 2 会員相互の情報伝達と情報の共有化

##### （1）埼玉県退職校長会ホームページによる情報提供と情報の共有化

本会では平成28年4月にホームページを立ち上げ本年で4年目を迎える。ホームページ作成の目的は、①本部活動の支部、班への情報提供 ②支部、班による相互の情報交流の場の提供にある。また、埼玉県退職校長会全体の「見える化」を図り、風通しのよい会運営に寄与している。

ホームページはデジタルによる情報提供のため、速報性、カラー写真の活用などによる利便性の高さがある。ホームページは ①本部活動に関するもの ②支部、班活動に関するもの ③その他全体に関するもの 以上3つのブロックにより構成されている。

###### ①本部活動に関するもの

○事業計画 ○各部活動の報告・研究調査部、福利厚生部、広報部、庶務会計部の活動内容、会議内容の報告 ○会議報告・支部長会、理事会、総会、幹事会等の会議内容を会議の雰囲気写真と共に提供 ○その他資料の提供

###### ②支部、班活動に関するもの

10支部、57班それぞれから情報提供を受け、支部、班のページを構成している。各支部、班の宣伝の場として、どのような活動が行われているのか分かりやすく構成されている。

###### ③その他全体に関するもの

新会員の入会案内、支部・班のエリアマップの提供、総会資料、会報執筆者等掲載されている多くの資料がPDFで出力でき、会員に活用し易くなっている。

このような情報提供により、本会の歴史、足跡がわかり、支部、班活動の活性化、会員相互の交流・連携にもつながっている。

##### （2）会報、ニュースレターによる情報提供と情報の共有化

###### ①会報の発行

会報は年3回（8月号、1月号、4月号）、A4見開き20ページが発行されている。

8月号から当該年度末退職予定の現職校長にも配布し、新会員への啓発に努めている。

会員からの寄稿として・一人一言 ・いまを生きる ・新会員の声 ・文芸（短歌、俳句、川柳等）の他、支部からの報告、本部からの報告等、号を分け計画的に掲載している。

###### ②ニュースレターの発行

平成20年度より、年2回、A4版両面刷2ページで時節にかなった諸情報を提供している。

10月は研究調査部、3月は福利厚生部が編集を担当している。

### 3 会員相互の交流の場と機会の提供、活用

#### (1) 定期総会

定期総会は、毎年6月初旬に実施している。全県を西→北→東→南→さいたま市の5地区に分け巡回方式で開催しており、支部の活性化にも繋がっている。

令和元年度総会案内者⇒支部会員12人当たり1人の代議員制で定数317名。その他役員39名、総会実施委員51名（一部代議員と重複）等。総会出席者総数⇒407名で開催された。

また、当該支部が中心となり・アトラクション・講演会・美術展・懇親会が同時開催されている。

#### (2) 「彩の国教育の日」協賛「現職・退職校長支部別教育推進協議会」

本県では、昭和47（1972）年、東西南北4会場で合同研修会をスタートさせた。昭和55（1986）年には会場を9つに拡大した。平成15（2003）年に『彩の国教育の日』協賛事業とし、その年誕生した政令指定都市のさいたま市を含め10支部・10会場で表題の協議会を発足し今日に至る。参加者総数は毎年1000名を超えている。本会は、県教育の充実発展を図るため、現職との連携を重視するとともに、PTAや地域住民の参加も促進し開催されている。

#### (3) 現職・退職校長会役員研究協議会

現職校長会との交流会として、平成9年度より毎年12月上旬に実施している。参加者は、小中学校校長会の正副会長・幹事長・事務局長、退職校長会の正副会長・事務局長・幹事・顧問（全体で約40名）となっている。現・退の立場で当面する教育の諸課題、活動内容等について情報提供、質疑応答を行い、それぞれの会の運営に寄与している。

#### (4) 福利厚生事業 囲碁大会、ゴルフ大会

会員相互の親睦を図るため県本部主催で、毎年10月に囲碁大会とゴルフ大会を実施している。今年で囲碁は23回、ゴルフは14回目を迎える。囲碁大会は、参加者が年々減少傾向にある。昨年のゴルフ大会では各支部から3チームが参加、計30チーム120名が参加し熱戦を繰り広げた。高齢者賞や女性参加賞など特別賞もあり、参加希望者が年々増加し参加者の調整に苦慮している。

#### (5) 個人情報考慮した会員名簿の作成

本会では5年毎に会員名簿を作成し発行している。また、新会員名簿は毎年発行している。会員名簿は支部、班別に会員の氏名、住所、生年月日、電話番号が掲載されている。しかし、本年からは個人情報保護の観点により本部、支部の幹部用の名簿と、個人情報に配慮した一般会員用の名簿とに分けて作成することとし、編集に取り組んでいる。

#### (6) 「校長退職後の再就職・待遇に関する実態調査」の実施と報告

本調査は新会員を対象に、校長退職後の再就職、待遇の実態を把握し、会員の福祉に資することを目的として、平成9年度より継続して実施している。平成30年度は調査対象者169名、回収数155名であった。再就職希望者は、平成25年度までは、平均61.8%だったが、29年度は82.5%、平成30年度は85.2%と上昇している。年金法の改正に伴う様々な状況の変化や、年金支給開始年齢の引き上げ等が影響しているのではないかと推察される。

#### (7) 入会案内の作成と配布

毎年、A3両面カラー版の「入会案内」を作成し、会員が退職予定校長を訪問し、入会のお誘いと共に会の趣旨を伝えている。近年退職後再就職する者も多いが、入会者数は増加している。

#### (8) 各支部、班の資料配付システムの構築

会報、ニューズレター、全連退からの配布資料等を会員に配布するに当たり、支部毎に配布担当者を置き、班、本部と連携を密にし、会員への資料配布が確実に実施されるシステムとなっている。

#### ◇埼玉県退職校長会ホームページ



QRコード

・アドレス

<https://www.saitama-taisyoku-koutyou.com/>